

## “ならでは”の働き

※お互いの関係を認め合い、お互いの安心出来る居場所を自然と創り出せる、このような「相互関係」を構築出来るのは、知的障害のある人それぞれに効率性や生産性だけではない計り知れない能力があるからであり、それを「ならでは」の働きと呼ぶようになりました。

### ぬくとばで働く久保さん

大津の日吉台にある、日吉台デイサービスセンターぬくとば。ここで久保美江さんが働き始めて 3 年目を迎えます。久保さんは自宅から電車と徒歩で 45 分かけてきています。勤務時間は 8 時 45 分から 14 時 45 分までで週 4 日働いています。

### スタッフからの評価

久保さんはとても時間に正確で、おとしよりのトイレ誘導等、他のスタッフを気づかせてくれるほどだそうです。他にも決まった仕事はしっかりしてくれる、アバウトな表現では伝わらない、すごくデリケート、仕事が嫌でも休んだりはしない頑張り屋、立ち直りが早く前向きな性格、丁寧な仕事ぶりという評価が挙がっていました。これが久保さんの“ならでは”と言えるでしょう。課題としては、仕事ぶりが丁寧すぎて時間がかかりすぎることがある為、わかりやすい目安などの工夫が必要だったことや、ご本人の仕事の覚えがいいので、他のスタッフはついつい多くを求めてしまいがちになり、ご本人がアップアップの状態になったこと等があったそうですが、都度修正を繰り返し、ゆっくりと相談をしながら今後も進んでいきたいと管理者の木村さんは話されます。

### 他のスタッフと久保さん

久保さんへの仕事の説明等を通して、自分自身の仕事内容を見直すことができ、1つ1つの言葉の重さを実感したと言われていました。また、バタバタする時間に彼女がいてくれることでフロアでの配膳等を任せてトイレ誘導等ができ、1人で行っていた入浴介助も、彼女が補助として手伝ってくれることで以前より多くの利用者さんに入ってもらい、ゆっくり入浴してもらうことが出来ているそうです。

### おとしよりと久保さん

おとしよりが来られた時、必ず玄関まで迎えに出て体調やお天気のことなどプラスの一言を添えられるのでおとしよりは喜ばれています。また、レクリエーション等での久保さんの声掛けで、不安を感じておられるおとしよりが安心されるそうです。

### 久保さんと介護の仕事

久保さんは滋賀県社会就労事業振興センターで行われている知的障害者介護技能等習得事業後のステップアップ研修に進まれ、3か月の実習を経験し、その中で「ありがとう」の言葉を貰ったことや、喜んでもらった体験から、よりぬくとばで働きたいと思ったそうです。そして、「ありがとう」の言葉や喜んでもらうこと、おとしよりの笑顔はご本人のやり甲斐に繋がっています。また、2年間でご本人は数段成長したと職員さんは言われます。

「責任感と誇りを持って生きていきたい」と考えておられる久保さんが今後ますます活躍されることを願っています。



外掃除中



洗い物



レクリエーションのお手伝い

## 清水苑で働く山本さん

東近江市にある特別養護老人ホーム清水苑。ここで山本豪さんが7年働いています。

山本さんは信楽学園卒業後すぐに清水苑に就職しました。初めは介護の仕事には興味がなく先生に勧められたそうですが、山本さんの人懐こそうで優しく感じるのが介護施設に向いていると先生が思われたのでしょう。緊張されているものの、笑顔でお話をして下さいました。

9時からの勤務なので、毎日8時には家を出て、電車と自転車を乗り継いで40分かけてきています。

利用者さんの車いすを押して部屋にお連れしたり、洗面所や廊下の掃除をしたり介護記録のケースや手すり、椅子を消毒剤できれいに拭いたり、お風呂の掃除をしたりと1日がとっても忙しく時間のたつのが早いといわれていました。月曜日から金曜日まで働いています。曜日によって違う仕事をしてはいるものの、たくさんの仕事を任されていました。

### おとしよりや職員からの「ありがとう」

山本さんは「ありがとう、きれいになったね」と利用者さんや他の職員から言われるのが仕事のやりがいにつながっているとされます。施設がきれいになることは自分が仕事をしっかりしていることだという自信にもつながっていました。ちなみに毎年少しずつ上がっていく給与を貯金してそれを野球観戦に使っているのだそうです。(ちなみに巨人ファンです)

### 山本さんの仕事ぶり

山本さんの仕事ぶりについて担当の木村さんに伺いました。

身体に少し麻痺があり、握力の弱かった山本さんに何ができるかを考えて、清掃の仕事を選んだそうです。また、事業所だけで障害のある人の働き方を考えるのではなく、働き・暮らし応援センターとも連携をしていて担当者が定期的に訪問してくださり、懇談をされているそうです。

雇用してよかったのは、今では他の職員の仕事もサポートしてくれていて、周りの様子を見ながら仕事をする、そんな気遣いもできるようになっているそうです。

### ほっとできる空間づくり

一緒に仕事をしていて、山本さんの穏やかな雰囲気や人懐こさがおとしよりだけでなく他の職員の気持ちも和ませ、居心地のいい、ほっとできる空間づくりの一翼を担っていると感じました。少しずつできることを広げ、おとしよりからも、職員からも頼りにされる存在になり、さらにスキルアップしようとしている山本さんがいるのだということもわかりました。



車いす押し中



ケース記録消毒中



お風呂掃除中



廊下のモップ掛け